

---

# 東方大空伝-Aninvader?Executioner?Nohope-

太陽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方大空伝 - An invader? Executioner? No hope -

### 【Nコード】

N6043V

### 【作者名】

太陽

### 【あらすじ】

博麗大結界に突如現れた謎の歪み

それと同時に突如現れた謎の外来人

一体幻想郷に何が起ころうとしているのか…

霊夢たち幻想郷メンバー + で異変解決に挑む！



零面く異変！??

此処は幻想郷

人と妖が共生し、豊かな自然と古めかしい家や屋台が未だ健在する  
少し変わった世界

これはそんな世界に住んでいる人 + 達の物語：

「ちよいと、私達妖怪を 何かで済まさないでくれる？ちよつと、  
聞いているの！？ねえってb」

博麗神社

「ふあ…暇ね…」

縁側に座り呑気にお茶を啜る少女がポツリと呟く。彼女の名は博麗  
霊夢、この博麗神社の巫女である。今日も修行をサボっているようだ

「暇なのは平和な証拠だぜ」

その隣に座り足をぶらつかせている黒白の恰好に三角帽子を被った  
少女が霊夢に言う。彼女の名は霧雨魔理沙、普通の魔法使いだ。

暇を持て余してはよくこの神社に遊びにくるようだ

「まあ確かにね…でもなんか暇なのよねえ…」

「あ、この煎餅頂くぜ」

そう言つて魔理沙はお盆にのせられた煎餅を一つパクリ

「ちょ、勝手に食べないでよ!」

「いいじゃないか一枚くらい、ケチケチするなよ」

ニシシ、と笑う魔理沙に対し、もう…と霊夢はため息をつく

「おーい霊夢ー」

神社の中から声がし、同時に二対の角の生えた少女が現れる

「ん?どうしたの?萃香」

少女の名は伊吹萃香。今は殆ど幻想郷からいなくなってしまった鬼の一族である

「客人だぞー。人里の人間だと思う」萃香は瓢箪をグビツとやりつつ境内の方に視線をやる

「あら、珍しいわね…あ、お賽銭入れてくれるかも」

言い切る前に既に霊夢は場を離れ客人の所へ小走りで向かっていった

「…現金な奴…私も行つてみるか」

苦笑しつつも魔理沙は霊夢を追いかけていく

「行つてこい」

酔つ払っている鬼は酒を飲みながら手を振り部屋に戻つていった…

十巻十

「あら、魔理沙も来たの？」

境内に着いた霊夢は後から追いかけて来た魔理沙に気付く

「ああ、何か面白そうだったからな」

「何が？」

「何となくだぜ」

しかし境内に着いたもののどうも客人の様子は無さそうだ。何より人の気配すらもない

「…誰もいないじゃない。騙された…？」

「せっかく客人として訪れたのに誰もお出迎えしないから腹立てて帰ったんじゃないか？」

二人はキョロキョロと辺りを見渡してみる

「そんなわけないでしょ、神社は人をもてなす所じゃないわ。大体

神社に来てお賽銭の一つもしないってどういう事よ」

いつの間にか霊夢はお賽銭箱の蓋をゴトツと開けて中身を確認している

「どうやら中身はいつもと変わらない、

「空だな」

落胆した表情を見せながら溜め息をつきつつ蓋を戻す

「ホント、神社に来て賽銭しない奴の気がしれないぜ」

「嫌味も込めて言っただけだ」

じとーっと魔理沙を見る霊夢

しかし魔理沙は知らぬ素振りで会話を続ける

「がつつく奴の所には金は来ないって聞くけどな」

「はあ…仕方ないでしょ、こちらそれしか収入源が無いんだから。それとも私が異変解決したら誰かお金くれるっていうの？」

「さあな、少なくとも前例はない」

笑う魔理沙

そう、巫女である博麗霊夢はこの幻想郷で誰かが起こす“異変”と呼ばれるものを解決する事を本業としている。実はこの巫女、恐ろしい程強いらしい…（弾幕ごっこで彼女に勝てる者はいないんだっ

て)

因みに魔理沙も迷惑な妖怪を退治している。腕は霊夢程では無いがかなりの努力家で、そして派手である。曰く「弾幕は火力だZ E」らしい。

「…って訳よ。さて、この私を騙すとはいいい度胸ね…萃香あ！」

走って神社内へと向かう霊夢。初速は世界記録レベルだ。お金の怨みは怖い

( 元々、客人〃お賽銭という等式が成り立っている霊夢の脳内が少し春)

「つと、速いな。こりゃ天狗に匹敵するぜ」

追いかけるようにして魔理沙も神社内へ向かう事にする…

十式十

神社内をドタバタと騒がしい音をたてながら廊下を歩く霊夢。振動で襖やら戸棚やらがガタガタ揺れているようだ。霊夢は先程の萃香の部屋の前に着くと勢いよく襖を開ける

「萃香！！客人なんていないじゃない！お陰でお賽銭なんて……って萃香…？」

いない



誰も居ないのだ。室内をぐるりと見回してみても萃香の姿は見当たらない

「おいおい、あんまりバタバタやるもんじゃない。いい近所迷惑だぜ…ってどうしたんだ…？」

後から魔理沙が下らない事を言いながらやって来る。しかし霊夢の様子を見るやいなや少し神妙な顔つきになった

「萃香がいないわ、何処に行ったのかしら…」

「何だ、そんなことか。霧にでもなつて何処かウロチヨロしてるんじゃないか？」

なんだ、と安心し樂觀視する魔理沙。  
その時だった

「おーい霊夢ー」

どこからか萃香の声。どうやら屋内ではなさそうだ

「ほら、お呼びだぜ」

やっぱりな、と笑う魔理沙

「はあ…はい、今行くわよー」

二人は顔を合わせくすつと笑うと外に出て萃香の声がする方へと向かっていく…

萃香がいたのは神社の屋根の上だった。そこで萃香は“何か”を見

ていた

「こんな所でなにやってるの…って、え…？」

「お？そりゃ…」

二人が着いたのを確認し、萃香は口を開く

「霊夢…これは何だと思う…？」

丁度神社の屋根の中心辺りを陣取り、黒く渦巻く歪みのような“何か”を指差しながら霊夢に尋ねた

「これは…まさか大結界に歪みが出来てる…？」

「どういう事だ？霊夢」

「今言った通りよ、この幻想郷と外の世界を隔離するための結界に歪みが出来てるの！…まさか紫が…？」

この幻想郷は博麗大結界という結界によって外の世界と隔離されている。

それは人間と妖怪のパワーバランスを均等に保つ為であり、この結界が無ければ“幻想郷”という世界は消えてしまうのだ

「そんな事はわかってる。何故こんなことになってるんだ？って意味で言っただ」

少しムツとなり霊夢に言い返す。しかし返事をしたのは霊夢でも萃香でもなく、背後から聞こえてきた謎の声だった

「何者かの仕業によってこの結界が弱くなってるのよ」

「！」三人が振り向くと空間にスーッと裂け目が発生し、その中から帽子を被り、紫を基調とした服を着た一人の少女が現れる。

彼女の名は八雲紫

見た目とは裏腹に千年以上生きており、妖艶で不気味な雰囲気漂浮させる彼女はこの幻想郷では賢者と呼ばれている大妖怪である

少女はトンツと屋根の上に降り立つと霊夢に視線を向ける

「霊夢、私が張るのに携わった結界に私がこんな歪みを創る訳ないでしょう」

「それは解らないわよ。この前だってアンタこの結界にヒビいれてたじゃないの」

「この結界に干渉する事が出来るとは…相当な力の持ち主ね…こんな鬼や天狗、吸血鬼にも不可能なはず…もしか外から…もしくは並行世界から…？」

ガン無視である

紫は歪みを見つめつつブツブツ何かを言っている

「無視してんじゃないわよ。誰がやったかとかはどうでもいいの。問題はこれが直せるかどうかよ」

霊夢が歪みに指を差す

こうしている間にも歪みは禍々しい雰囲気放ちながら神社の中心に陣取っている

そしてこうしている間にも萃香は酒を飲んでいる。緊張感に欠ける鬼だ

「笑止。この程度の歪み、私の手にかかれば」

「日常茶飯事、だな」

そこで何故か魔理沙が割って入る

「お茶の子さいさいよ」

露骨にスルーして

「直せるならさっさと直して頂戴。いつまでもこんなもんがあつちやいい気分しないわ」

霊夢が紫に言う。

紫はニヤリと口元を歪めせると毒々しく言い放った

「ふふ、ただ直すだけではつまらないでしょう？さあ、釣りの時間よ」

決して歴史に遺る事のない物語が幕を開ける

零面〱異変!?? (後書き)

お疲れ様でした

まだ始まったばかりでよく話もわからないと思いますが次話から本格的に始めていこうと思います

… どうなるんだろうこのお話… o r z

最後に

ここまで読んでくださった方、本当にありがとうございましたm)

— ) m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6043v/>

---

東方大空伝-Aninvader?Executioner?Nohope-

2011年10月8日01時07分発行